

【主な医薬品とその作用】

問 6 1

かぜ及びかぜ薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア かぜ薬とは、かぜの諸症状の緩和を目的として使用される医薬品の総称であり、総合感冒薬とも呼ばれる。

イ かぜで、発熱、咳、鼻水など症状がはっきりしている場合には、かぜ薬が選択されるのが最適である。

ウ かぜの原因の約8割は、細菌の感染によるものである。

エ 15歳未満の小児のインフルエンザには、エテンザミドが配合されたかぜ薬を使用することが適切である。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	誤

問 6 2

かぜ薬に配合される医薬品の成分とその作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	イブプロフェン	－ 解熱鎮痛
イ	グアイフェネシン	－ 抗ヒスタミン
ウ	コデインリン酸塩	－ 去痰 ^{たん}
エ	トラネキサム酸	－ 抗炎症

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 6 3

かぜの症状の緩和に用いられる漢方処方製剤に関する以下の記述について、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様の痰を伴う咳や鼻水が出るものの気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、悪心、胃部不快感等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

まれに重篤な副作用として、肝機能障害、間質性肺炎、偽アルドステロン症を生じることが知られている。

- 1 葛根湯 かっこんとう
- 2 桂枝湯 けいしとう
- 3 小青竜湯 しょうせいりゅうとう
- 4 小柴胡湯 しょうさいこうとう
- 5 麻黄湯 まおうとう

問 6 4

グリチルリチン酸に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 かぜ薬に抗炎症作用を目的として配合される。
- 2 医薬品では1日摂取量がグリチルリチン酸として200mgを超えないように用量が定められている。
- 3 グリチルリチン酸を含む生薬成分として、マオウが医薬品に配合されている場合もある。
- 4 甘味料として一般食品や医薬部外品などにも広く用いられる。

【主な医薬品とその作用】

問 6 5

解熱鎮痛薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア アセトアミノフェンは、局所のプロスタグランジンの産生を抑制する作用により、体の各部（末梢）での痛みを鎮める。

イ アスピリンは、ライ症候群の発生が示唆されているため、15歳未満の小児に対しては、いかなる場合も一般用医薬品として使用してはならない。

ウ サザピリンは、ピリン系の解熱鎮痛成分であり、ピリン^{しん}疹と呼ばれるアレルギー症状をもたらすことがある。

エ アスピリン、カフェイン、エテンザミドの組み合わせは、それぞれの頭文字から「ACE処方」と呼ばれる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 6 6

眠気を促す薬（催眠鎮静薬）に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 抗ヒスタミン成分を主薬とする催眠鎮静薬は、慢性的に不眠症状がある人を対象としている。
- イ ジフェンヒドラミン塩酸塩を含有する催眠鎮静薬は、小児では神経過敏や中枢興奮などの副作用が起きやすいため、使用を避けるべきである。
- ウ 酸棗仁湯^{さんそうにんとう}を1週間位服用して不眠症状の改善がみられない場合であっても、長期にわたり服用を継続して様子を見るべきである。
- エ ブロムワレリル尿素は、胎児に障害を引き起こす可能性があるため、妊婦又は妊娠していると思われる女性は使用を避けるべきである。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 6 7

眠気防止薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア カフェインは、腎臓におけるナトリウムイオン（同時に水分）の再吸収を抑制するとともに、尿量の増加をもたらす。
- イ カフェインには、胃液分泌^{こう}亢進作用があり、その結果、副作用として胃腸障害（食欲不振、悪心・嘔吐^{おう}）が現れることがある。
- ウ かぜ薬やアレルギー用薬を使用したことによる眠気を抑えるために、眠気防止薬を使用することが推奨されている。
- エ 成人用よりも用量が少ない、小児用の眠気防止薬もある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 6 8

鎮^{うん}暈薬（乗物酔い防止薬）に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 抗コリン成分であるスコポラミン臭化水素酸塩は、肝臓での代謝が遅いため、抗ヒスタミン成分と比べて作用の持続時間は長い。
- 2 メクリジン塩酸塩は、他の抗ヒスタミン成分と比べて作用が現れるのが遅く持続時間が長く、専ら乗物酔い防止薬に配合されている。
- 3 ジフェニドール塩酸塩は、排尿困難の症状がある人や緑内障の診断を受けた人では、その症状を悪化させるおそれがある。
- 4 プロメタジンテオクル酸塩等のプロメタジンを含む成分については、外国において、乳児突然死症候群や乳児睡眠時無呼吸発作のような致命的な呼吸抑制を生じたとの報告があるため、15歳未満の小児では使用を避ける必要がある。

【主な医薬品とその作用】

問 6 9

小児の疳^{かん}を適応症とする生薬製剤及び漢方処方製剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア ジャコウは、緊張や興奮を鎮め、また、血液の循環を促す作用等を期待して用いられる。

イ 小建中湯^{しょうけんちゅうとう}は、体力虚弱で疲労しやすく腹痛があり、血色がすぐれず、ときに動悸^き、手足のほてり、冷え、ねあせ、鼻血、頻尿及び多尿などを伴うものの小児虚弱^{けん}体質、疲労倦怠、慢性胃腸炎、腹痛、神経質、小児夜尿症、夜なきに適すとされる。

ウ 漢方処方製剤は、用法用量において適用年齢の下限が設けられていない場合にあっても、生後3ヶ月未満の乳児には使用しないこととなっている。

エ カンゾウについては、小児の疳^{かん}を適応症とする生薬製剤では主として健胃作用を期待して用いられている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 7 0

呼吸器官に作用する以下の医薬品成分と、その期待される作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	作用
ア	ノスカピン塩酸塩	－ 鎮咳 ^{がい}
イ	セチルピリジニウム塩化物	－ 抗ヒスタミン
ウ	クレマスチンフマル酸塩	－ 殺菌消毒
エ	グアヤコールスルホン酸カリウム	－ 去痰 ^{たん}

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 7 1

ヨウ素系殺菌消毒成分に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号の()内には同じ字句が入ります。

ヨウ素系殺菌消毒成分が口腔内に使用される場合、結果的にヨウ素の摂取につながり、(ア)におけるホルモン産生に影響を及ぼす可能性がある。(イ)や橋本病などの(ア)疾患の診断を受けた人では、その治療に悪影響を生じるおそれがあるため、使用前にその適否につき、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談がなされるべきである。

妊娠中に摂取されたヨウ素の一部は(ウ)を通過して胎児に移行するため、長期間に亘って大量に使用された場合には、胎児にヨウ素の過剰摂取による(ア)機能障害を生じるおそれがある。

	ア	イ	ウ
1	副腎皮質	バセドウ病	血液脳関門
2	副腎皮質	アジソン病	血液 - 胎盤関門
3	甲状腺	バセドウ病	血液 - 胎盤関門
4	甲状腺	アジソン病	血液脳関門
5	甲状腺	アジソン病	血液 - 胎盤関門

【主な医薬品とその作用】

問 7 2

胃腸鎮痛鎮^{けい}痙薬に配合される医薬品の成分とその副作用の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	副作用
ア	ロートエキス	－ 排尿困難
イ	パパベリン塩酸塩	－ 白内障の悪化
ウ	アミノ安息香酸エチル	－ メトヘモグロビン血症
エ	ブチルスコポラミン臭化物	－ 縮瞳

1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 7 3

血中コレステロールと高コレステロール改善薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 低密度リポタンパク質（LDL）は、末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運ぶリポタンパク質である。
- 2 パンテチンには、腸管におけるコレステロールの吸収を抑える働きがあるとされる。
- 3 ビタミンB2は、コレステロールから過酸化脂質の生成を抑えるほか、末梢血管における血行を促進する作用があるとされる。
- 4 リノール酸は、コレステロールと結合して、代謝されやすいコレステロールエステルを形成するとされ、肝臓におけるコレステロールの代謝を促す効果を期待して用いられる。

【主な医薬品とその作用】

問 7 4

胃腸に作用する薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 健胃薬、消化薬、整腸薬又はそれらの目的を併せ持つものには、医薬部外品として製造販売されている製品はない。

イ センブリが配合された健胃薬は苦味があるため、オブラートで包んで服用するのが適当である。

ウ 制酸成分を主体とする胃腸薬については、酸度の高い食品と一緒に使用すると胃酸に対する中和作用が低下することが考えられるため、炭酸飲料等での服用は適当でない。

エ セトラキサート塩酸塩は、体内で代謝されてトラネキサム酸を生じることから、血栓のある人や血栓を起こすおそれのある人では、生じた血栓が分解されにくくなることが考えられる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 7 5

以下の止瀉薬しやに含まれる成分のうち、細菌感染による下痢の症状を鎮めることを目的として配合されるものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア ロペラミド塩酸塩

イ ベルベリン塩化物

ウ 次硝酸ビスマス

エ 木クレオソートもく

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 7 6

瀉^{しゃ}下成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア ヒマシ油は、大腸のうち特に結腸や直腸の粘膜を刺激して、排便を促すと考えられている。

イ ビサコジルは、小腸でリパーゼの働きによって生じる分解物が、小腸を刺激することで瀉^{しゃ}下作用をもたらすと考えられている。

ウ 酸化マグネシウムは、腸内容物の浸透圧を高めることにより、糞^{ふん}便中の水分量を減らす作用がある。

エ マルツエキスは、瀉^{しゃ}下薬としては比較的作用が穏やかなため、主に乳幼児の便秘に用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【主な医薬品とその作用】

問 7 7

漢方処方製剤に関する以下の記述について、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

体力中等度以上で大便が硬く、便秘傾向のあるものの痔核（いぼ痔）、切れ痔、便秘、軽度の脱肛に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸が弱く下痢しやすい人では、悪心・嘔吐、激しい腹痛を伴う下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

まれに重篤な副作用として、肝機能障害、間質性肺炎を生じることが知られている。

- 1 りゅうたんしゃかんとう
竜胆瀉肝湯
- 2 ちよれいとう
猪苓湯
- 3 おつじとう
乙字湯
- 4 はちみじおうがん
八味地黄丸
- 5 ごしゃじんきがん
牛車腎気丸

【主な医薬品とその作用】

問 7 8

外用痔疾用薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 血管収縮作用による止血効果を期待して、アドレナリン作動成分であるテトラヒドロゾリン塩酸塩が配合されていることがある。
- イ 粘膜表面に不溶性の膜を形成することによる、粘膜の保護・止血を目的として、タンニン酸が配合されていることがある。
- ウ 肛門周囲の末梢血管の血行を改善する作用を期待して、ビタミンE（トコフェロール酢酸エステル）が配合されていることがある。
- エ 局所への穏やかな刺激によって痒みを抑える効果を期待して、冷感刺激を生じさせるカンフルが配合されていることがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

問 7 9

駆虫薬に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 食事を摂って消化管内に内容物があるときに使用すると、消化管内容物の消化・吸収に伴って駆虫成分の吸収が高まることから、空腹時に使用することとされているものが多い。
- 2 瀉下薬が併用されることがあるが、ヒマシ油を使用すると腸管内で駆虫成分が吸収されやすくなり、副作用を生じる危険性が高まるため、ヒマシ油との併用は避ける必要がある。
- 3 サントニンは、条虫（いわゆるサナダ虫など）の駆除に用いられる。
- 4 リン酸ピペラジンは、副作用として痙攣、倦怠感、眠気、食欲不振、下痢、便秘等が現れることがある。

【主な医薬品とその作用】

問 80

以下の強心薬に配合される生薬成分に関する記述について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア ウシ科のウシの胆^{のう}囊中に生じた結石を基原とする生薬で、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮をしずめる等の作用があるとされる。

イ シカ科のマンシュウアカジカ又はマンシュウジカの雄のまだ角化していない、もしくは、わずかに角化した幼角を基原とする生薬で、強心作用の他、強壯、血行促進等の作用があるとされる。

ウ ヒキガエル科のシナヒキガエル等の毒腺の分泌物を集めたものを基原とする生薬で、微量で強い強心作用を示す。

	ア	イ	ウ
1	センソ	ゴオウ	ロクジョウ
2	ロクジョウ	センソ	ゴオウ
3	ロクジョウ	ゴオウ	センソ
4	ゴオウ	ロクジョウ	センソ
5	センソ	ロクジョウ	ゴオウ

【主な医薬品とその作用】

問 8 1

女性ホルモンに関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

月経周期は、種々のホルモンの複雑な相互作用によって調節されており、約(ア)と幅がある。加齢とともに(イ)からの女性ホルモンの分泌が減少していき、やがて月経が停止して、妊娠可能な期間が終了することを閉経という。閉経の前後には(ウ)と呼ばれる移行的な時期があり、体内の女性ホルモンの量が大きく変動することがある。

	ア	イ	ウ
1	3～10日	卵巣	更年期
2	3～10日	視床下部	産褥期 ^{じょく}
3	3～10日	副腎	更年期
4	21～40日	視床下部	産褥期 ^{じょく}
5	21～40日	卵巣	更年期

問 8 2

婦人薬として用いられる主な漢方処方製剤に関する以下の記述について、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

体力中等度又はやや虚弱で冷えがあるものの胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、更年期障害、感冒に適すとされるが、体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、不向きとされる。構成生薬としてマオウを含む。

- 1 しもつとう
四物湯
- 2 ごしゃくさん
五積散
- 3 うんせいいん
温清飲
- 4 かみしょうようさん
加味逍遙散
- 5 とうかくじょうきとう
桃核承気湯

【主な医薬品とその作用】

問 8 3

アレルギー用薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 カルビノキサミンマレイン酸塩は、他のアドレナリン作動成分に比べて中枢神経系に対する作用が強く、副作用として不眠や神経過敏が現れることがある。
- 2 メチルエフェドリン塩酸塩は、依存性がある抗コリン成分であり、長期間に亘って連用された場合、薬物依存につながるおそれがある。
- 3 ベラドンナ総アルカロイドは、鼻腔内の粘液分泌腺からの粘液の分泌を抑えるとともに、鼻腔内の刺激を伝達する交感神経系の働きを抑えることによって、鼻汁分泌やくしゃみを抑える目的で用いられる。
- 4 サイシンは、ウマノスズクサ科のウスバサイシン又はケイリンサイシンの根及び根茎を基原とする生薬で、鎮痛、鎮咳、利尿等の作用を有するとされ、鼻閉への効果を期待して用いられる。

【主な医薬品とその作用】

問 8 4

漢方処方製剤に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 十味敗毒湯^{じゅうみはいどくとう}は、体力中等度なものの皮膚疾患で、発赤があり、ときに化膿^{のう}するものの化膿性^{のう}皮膚疾患・急性皮膚疾患の初期^{じん しん}、蕁麻疹^{じん しん}、湿疹^{しん}・皮膚炎、水虫に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸が弱い人では不向きとされる。
- イ 消風散^{しょうふうさん}は、体力中等度で冷え症で、皮膚が乾燥するものの湿疹^{しん}・皮膚炎（分泌物の少ないもの）、痒み^{かゆ}に適すとされるが、胃腸が弱く下痢をしやすい人では、胃部不快感、腹痛等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。
- ウ 辛夷清肺湯^{しんいせいはいとう}は、体力中等度以上で皮膚の色が浅黒く、ときに手足の裏に脂汗をかきやすく腹壁が緊張しているものの蓄膿症^{のう}、慢性鼻炎、慢性扁桃炎^{へん}、にきびに適すとされるが、胃腸の弱い人では、胃部不快感等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。
- エ 当帰飲子^{とうきいんし}は、体力中等度以上の人の皮膚疾患^{かゆ}で、痒みが強くて分泌物が多く、ときに局所の熱感があるものの湿疹^{しん}・皮膚炎^{じん しん}、蕁麻疹^{じん しん}、水虫、あせもに適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸が弱く下痢をしやすい人では、胃部不快感、腹痛等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

【主な医薬品とその作用】

問 8 5

鼻炎用点鼻薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 鼻炎用点鼻薬は、鼻づまり、鼻みず（鼻汁過多）、くしゃみ、頭重（頭が重い）の緩和を目的として、鼻腔内に適用される外用液剤であるが、花粉症に適用する医薬品ではない。

イ 点鼻薬は局所（鼻腔内）に適用されるものであるが、成分が鼻粘膜を通っている血管から吸収されて循環血液中に入りやすく、全身的な影響を生じることがある。

ウ 鼻粘膜の過敏性や痛みや痒みを抑えることを目的として、リドカイン塩酸塩が配合されている場合がある。

エ ヒスタミンの働きを抑えることにより、くしゃみや鼻水等の症状を緩和することを目的として、セチルピリジニウム塩化物が配合されている場合がある。

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 8 6

眼科用薬に配合される医薬品成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア イプシロン-アミノカプロン酸は、眼粘膜のタンパク質と結合して皮膜を形成し、外部の刺激から保護する作用を期待して用いられる。

イ コンドロイチン硫酸ナトリウムは、結膜や角膜の乾燥を防ぐことを目的として用いられる。

ウ クロモグリク酸ナトリウムは、肥満細胞からのヒスタミン遊離を抑える作用を示し、花粉、ハウスダスト（室内塵）等による目のアレルギー症状の緩和を目的として用いられる。

エ スルファメトキサゾールは、ウイルスや真菌の感染に対する効果はなく、細菌感染（ブドウ球菌や連鎖球菌）による結膜炎やものもらい（麦粒腫）、眼瞼炎などの化膿性の症状の改善を目的として用いられる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【主な医薬品とその作用】

問 8 7

皮膚に用いられる医薬品成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア ヨードチンキは、皮膚刺激性が弱く、粘膜（口唇等）や目の周りの部位に使用できるが、化膿^{のう}している部位への使用は避けるべきである。

イ アクリノールとオキシドールは、いずれも一般細菌類の一部（連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿^{のう}菌）に対する殺菌消毒作用を示す。

ウ プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステルは、外用の場合は末梢組織（患部局所）における炎症を抑える作用を示し、特に、痒^{かゆ}みや発赤などの皮膚症状を抑えることを目的として用いられる。

エ ブフェキサマクは、炎症を生じた組織に働いて、細胞膜の安定化、活性酸素の生成抑制などの作用により、抗炎症作用を示す。

1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 8 8

皮膚に用いられる医薬品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア インドメタシンを主薬とする外皮用薬では、11歳未満の小児向けの製品はない。
- イ 温感刺激成分を主薬とする貼付剤では、貼付部位を電気毛布等の保温器具で温めることが望ましい。
- ウ イブプロフェンピコノールは、吹き出物に伴う皮膚の発赤や腫れを抑えるほか、吹き出物（面皰^{ほう}）の拡張を抑える作用があるとされ、専らにきび治療薬として用いられる。
- エ イミダゾール系抗真菌成分は、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げたり、細胞膜の透過性を変化させることにより、その増殖を抑える。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

問 8 9

毛髪用薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 カルプロニウム塩化物は、末梢組織（適用局所）においてアドレナリンに類似した作用を示し、頭皮の血管を拡張、毛根への血行を促すことによる発毛効果を期待して用いられる。
- 2 エストラジオール安息香酸エステルは、男性ホルモン成分の一種であり、脱毛抑制効果を期待して配合される。
- 3 チクセツニンジン^{チクセツニンジン}は、ウコギ科トチバニンジン^{トチバニンジン}の根茎を、通例、湯通ししたものを基原とする生薬で、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除く作用を期待して用いられる。
- 4 ヒノキチオールは、抗菌、血行促進、抗炎症などの作用を期待して用いられる。

【主な医薬品とその作用】

問 9 0

歯槽膿漏薬に配合されている成分と配合目的の関係について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	配合目的
ア	カルバゾクロム	— 歯周組織からの出血を抑える
イ	フィトナジオン	— 歯周組織の炎症を和らげる
ウ	チモール	— 歯肉溝での細菌の繁殖を抑える
エ	グリチルレチン酸	— 歯周組織の修復を促す

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

問 9 1

口内炎用薬と口内炎に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 茵陳蒿湯は、体力中等度以上で口渇があり、尿量が少なく、便秘するものの蕁麻疹、口内炎等に適すとされ、構成生薬としてダイオウを含む。

イ アズレンスルホン酸ナトリウム（水溶性アズレン）は、口腔粘膜の殺菌消毒を目的として用いられる。

ウ 口内炎は、疱疹ウイルスの口腔内感染、医薬品の副作用として生じる場合もある。

エ 口内炎は、通常であれば2～3日間で自然寛解するが、一度に複数箇所に発生して食事に著しい支障を来すほどの状態であれば、医療機関を受診することが望ましい。

1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 9 2

ニコチンと禁煙補助剤に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 習慣的な喫煙により、喫煙していないと次第に体の調子が悪く感じられるようになり、血中ニコチン濃度の上昇によって、イライラ感、集中困難、落ち着かない等のニコチン離脱症状（禁断症状）が現れ、喫煙習慣からの離脱が困難になる。
- 2 ニコチンは、交感神経系を興奮させる作用を示し、アドレナリン作動成分が配合された医薬品との併用により、その作用を増強させるおそれがある。
- 3 咀嚼剤は、1度に2個以上をまとめて、ゆっくりと断続的に嘔むことが望ましい。
- 4 禁煙に伴うニコチン離脱症状は、通常、禁煙開始から1～2ヶ月の間に起きることが多いため、禁煙補助剤の使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を超える使用は避ける。

問 9 3

ビタミン成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ビタミンB6の服用により、一般に尿が黄色くなる。
イ ビタミンB12は、赤血球の形成を助け、また、神経機能を正常に保つ働きがある。
ウ ビタミンDの欠乏症として、高カルシウム血症、異常石灰化が知られている。
エ ビタミンEは、下垂体や副腎系に作用してホルモン分泌の調節に関与するとされており、ときに生理が早く来たり、経血量が多くなったりすることがある。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

【主な医薬品とその作用】

問 9 4

滋養強壮保健薬に配合される成分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア グルクロノラクトンは、肝臓の働きを助け、肝血流を促進する働きがある。
- イ ヘスペリジンは、ビタミン様物質のひとつで、ビタミンB 1の吸収を助ける働きがある。
- ウ アミノエチルスルホン酸は、タウリンとも呼ばれ、肝臓機能を改善する働きがある。
- エ ガンマ - オリザノールは、米油及び米胚芽油から見出された抗酸化作用を示す成分である。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【主な医薬品とその作用】

問 9 5

漢方処方製剤に関する以下の記述について、正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなもの的高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症、湿疹・皮膚炎、ふきでもの、肥満症に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸が弱く下痢しやすい人、発汗傾向の著しい人では、激しい腹痛を伴う下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

構成生薬としてカンゾウ、マオウ、ダイオウを含む。

- 1 おうれんげどくとう 黄連解毒湯
- 2 ぼういおうぎとう 防己黄耆湯
- 3 ぼうふうつうしょうさん 防風通聖散
- 4 せいじょうぼうふうとう 清上防風湯
- 5 だいさいことう 大柴胡湯

問 9 6

公衆衛生用薬に用いられる殺菌消毒成分に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クレゾール石鹼液は、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示す。
- 2 イソプロパノールでは、ウイルスに対する不活性効果はエタノールよりも低い。
- 3 次亜塩素酸ナトリウムは、酸性の洗浄剤と反応すると有毒な塩素ガスが発生する。
- 4 ジクロルイソシアヌル酸ナトリウムは、プール等の大型設備の殺菌・消毒に用いられることが多い。

【主な医薬品とその作用】

問 9 7

殺虫剤等に含まれる成分とその分類に関する以下の組み合わせについて、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	成分	分類
1	フェノトリン	－ 有機リン系殺虫成分
2	ダイアジノン	－ ピレスロイド系殺虫成分
3	メトキサジアゾン	－ カーバメイト系殺虫成分
4	ディート	－ 昆虫成長阻害成分
5	オルトジクロロベンゼン	－ 有機塩素系殺虫成分

問 9 8

尿糖・尿タンパク検査に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 尿中のタンパク値に異常を生じる要因について、尿路に異常が生じたことによるものとしては、腎炎やネフローゼがある。
- 2 尿糖・尿タンパク同時検査の場合、早朝尿（起床直後の尿）を検体とするが、尿糖が検出された場合には、食後（2～3時間）の尿について改めて検査して判断する必要がある。
- 3 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で酸性側に傾くと、正確な検査結果が得られなくなることがある。
- 4 一般用検査薬である尿糖・尿タンパク検査薬は、尿中の糖やタンパク質の有無を調べるものであり、その結果をもって直ちに疾患の有無や種類を判断することができる。

【主な医薬品とその作用】

問 99

妊娠検査薬に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 尿中のヒト^{じゅう}絨毛性性腺刺激ホルモンの検出反応は、検出感度が安定しており、温度の影響を受けない。
- 2 一般的な妊娠検査薬は、月経予定日の概ね1週間前の検査が推奨されている。
- 3 検体としては、就寝直前の尿が向いている。
- 4 妊娠が成立していたとしても、正常な妊娠か否かについては、妊娠検査薬による検査結果では判別できない。

問 100

生薬成分に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア ブシは、鎮痛作用を示すが、アスピリン等と異なり、プロスタグランジンを抑えないことから、胃腸障害等の副作用は示さない。
- イ ケイガイは、発汗、解熱、鎮痛等の作用を有するとされ、鼻閉への効果を期待して用いられる。
- ウ サイコは、血行促進、強心等の作用を期待して用いられる。
- エ サフランは、肌荒れやいぼに用いられる。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 0 1

医薬品の定義（薬事法第2条第1項の条文）に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律で「医薬品」とは、次に掲げる物をいう。

- 一 (ア) に収められている物
- 二 人又は動物の疾病の(イ)に使用されることが目的とされている物であつて、機械器具、歯科材料、医療用品及び衛生用品（以下「機械器具等」という。）でないもの（医薬部外品を除く。）
- 三 人又は動物の身体の(ウ)に影響を及ぼすことが目的とされている物であつて、機械器具等でないもの（医薬部外品及び化粧品を除く。）

	ア	イ	ウ
1	日本薬局方	診断、治療又は予防	構造又は機能
2	日本薬局方	治療又は予防	構造又は機能
3	日本薬局方	治療又は予防	機能
4	添付文書集	診断、治療又は予防	構造又は機能
5	添付文書集	治療又は予防	機能

【薬事関係法規・制度】

問 102

医薬品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 人体に直接使用されない検査薬において、検体の採取に身体への直接のリスクを伴うもの（例えば、血液を検体とするもの）は、一般用医薬品又は要指導医薬品としては認められていない。
- イ 一般用医薬品及び要指導医薬品の効能効果の表現は、一般の生活者が病名で判断しやすいように、診断疾患名（例えば、胃炎、胃・十二指腸潰瘍等）で示されている。
- ウ 一般用医薬品及び要指導医薬品は、あらかじめ定められた用量に基づき、適正に使用することによって効果を期待するものである。
- エ 要指導医薬品とは、その適正な使用のために薬剤師又は登録販売者の対面による情報提供及び薬学的知見に基づく指導が行われることが必要なものとして、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定するものである。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【薬事関係法規・制度】

問103

医薬品等に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 卸売販売業者は、配置販売業者に対し、一般用医薬品及び要指導医薬品を販売又は授与することができる。
- イ 一般用医薬品及び要指導医薬品で毒薬又は劇薬に該当するものはない。
- ウ 毒薬については、それを収める直接の容器又は被包に、黒地に白枠、白字をもって、当該医薬品の品名及び「毒」の文字を記載するよう努めることとなっている。
- エ 生物由来製品は、製品の使用による感染症の発生リスクに着目して指定される。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	正
4	誤	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問104

医薬品等に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 一般用医薬品の製造販売を行う製薬企業において、各製品の外箱等に、当該医薬品が分類されたリスク区分ごとに定められた事項を記載するよう努めなければならない。
- イ 指定第二类医薬品は、第二类医薬品のうち、「特別の注意を要するものとして厚生労働大臣が指定するもの」とされている。
- ウ 第二类医薬品とは、日常生活に支障を来す程度ではないが、副作用等により身体の変調・不調が起こるおそれはあるものと定義されている。
- エ 経年変化が起こりにくい等配置販売品目の基準に適合するもの以外の一般用医薬品にあっては、「店舗専用」の文字の記載が義務づけられている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【薬事関係法規・制度】

問105

医薬部外品に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬部外品を製造販売する場合には、原則として、製造販売業の届出が必要である。
- イ 医薬部外品は、その効能効果が予め定められた範囲内であって、成分や用法等に照らして人体に対する作用が緩和であることを要件として、医薬品的な効能効果を表示・^{ぼう}標榜することが認められている。
- ウ 医薬部外品の販売には、薬局の許可又は販売業の届出が必要である。
- エ 医薬部外品には、衛生害虫類の防除のために使用される製品もある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

問106

化粧品に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 医薬品的な効能効果を表示・^{ぼう}標榜することは一切認められていない。
- 2 化粧品において、原則として医薬品の成分を配合してはならない。
- 3 化粧品を業として製造販売する場合、製造販売業の許可を受けた者は、品目ごとの届出を行う必要はない。
- 4 化粧品を販売する場合には、販売業の許可は必要なく、一般小売店において販売することができる。

【薬事関係法規・制度】

問107

「医薬品の範囲に関する基準」及び食品に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 製品から専ら医薬品として使用される成分本質が検出されなくても、含有又は配合されている旨が標榜^{ぼう}・表示されている場合には、当該成分本質を含むものとみなされる。
- 2 特定保健用食品は、身体の生理学的機能等に影響を与える保健機能成分を含む食品である。
- 3 錠剤、カプセル剤、顆粒剤の形状をしている場合は、食品である旨が明記されていても、当該形状のみをもって医薬品に該当する。
- 4 服用時期、服用間隔、服用量等の医薬品的な用法用量の記載をしている場合は、調理のために使用方法、使用量等を定めている場合を除き、医薬品に該当する要素とみなされる。

問108

食品に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 食品とは、医薬品以外のすべての飲食物をいう。
- イ 保健機能食品とは、食生活を通じた健康の保持増進を目的として摂取されるものである。
- ウ 健康食品という言葉は、法令で定義された用語であり、栄養補助食品、サプリメント、ダイエット食品等と呼ばれることもある。
- エ 特定保健用食品と栄養機能食品を総称して「保健機能食品」という。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問109

以下の記述は、薬事法第24条第1項の条文の一部である。()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

薬局開設者又は医薬品の販売業の(ア)を受けた者でなければ、(イ)、医薬品を販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で貯蔵し、若しくは(ウ)(配置することを含む。)してはならない。

	ア	イ	ウ
1	承認	何人も	陳列
2	承認	業として	保管
3	許可	業として	陳列
4	許可	業として	保管
5	許可	何人も	陳列

問110

薬局に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 薬局では、医療用医薬品の他、要指導医薬品及び一般用医薬品を取り扱うことができる。
- 2 薬局の管理者には、その薬局で薬事に関する実務に従事する薬剤師又は登録販売者になることができる。
- 3 薬局の管理者は、保健衛生上支障を生ずるおそれがないよう、その薬局に勤務するその他の従業者を監督するなど、薬局の業務につき、必要な注意をしなければならない。
- 4 医薬品を取り扱う場所であって、薬局として開設の許可を受けていないものについては、病院又は診療所の調剤所を除き、薬局の名称を付してはならない。

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 1

店舗販売業に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 薬剤師が従事している店舗であれば、調剤を行うことができる。
- イ 薬剤師が従事している店舗であれば、店舗に薬剤師がいない場合でも、登録販売者は第一類医薬品の販売を行うことができる。
- ウ 店舗販売業の許可は、要指導医薬品又は一般用医薬品を、店舗において販売し、又は授与する業務について、店舗ごとに、その店舗の所在地の都道府県知事のみが与えることとされている。
- エ 店舗を実地に管理する者（店舗管理者）は、店舗販売業の許可を受けた事業者（店舗販売業者）に対し、店舗の業務等について必要な意見を述べなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 2

配置販売業に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 配置販売業は、購入者の居宅に医薬品を予め預けておき、購入者がこれを使用した後でなければ代金請求権を生じないといった販売形態である。
- イ 配置販売業では、第一類医薬品の販売又は授与を行うことができない。
- ウ 配置販売業では、医薬品を開封して分割販売することが認められている。
- エ 配置販売業者又はその配置員は、その住所地の都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受け、かつ、これを携帯しなければ、医薬品の配置販売に従事してはならない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 1 1 3

薬局及び医薬品の販売業に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 店舗販売業者が、配置による販売又は授与の方法で医薬品を販売等しようとする場合には、別途配置販売業の許可を受ける必要がある。
- 2 配置販売業の許可は、一般用医薬品を、配置により販売又は授与する業務について、配置しようとする区域をその区域に含む都道府県ごとに、その都道府県知事が与える。
- 3 卸売販売業では、特定の購入者の求めに応じて医薬品の包装を開封して分割販売することができる。
- 4 薬局では、業務の効率化をはかるため、医薬品をあらかじめ小分けし、販売することが認められている。

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 4

以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 要指導医薬品は、薬局等構造設備規則に規定する「情報提供を行うための設備」から7メートル以内の範囲に陳列しなければならない。
- イ 薬局開設者は、要指導医薬品及び一般用医薬品を陳列する場合には、要指導医薬品及び一般用医薬品を混在しないように陳列しなければならない。
- ウ 店舗販売業者は、一般の生活者に医薬品でない製品を販売等することにあたって、医薬品的な誤認を与えることのないよう、十分配慮する必要がある。
- エ 薬局開設者又は店舗販売業者は、当該薬局又は店舗を利用するために必要な情報を薬局又は店舗の見やすい場所に掲示するよう努めなければならない。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 5

一般用医薬品の販売等に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 店舗販売業者は、その店舗において第三類医薬品を購入した者から相談があった場合には、医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師又は登録販売者をして、その適正な使用のために必要な情報を提供させるよう努めなければならない。
- イ 店舗販売業者は、その店舗において第二類医薬品を販売又は授与する場合には、医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師又は登録販売者に、必要な情報を提供させるよう努めなければならない。
- ウ 店舗販売業者は、その店舗において第一類医薬品を販売又は授与する場合には、医薬品の販売又は授与に従事する薬剤師又は登録販売者をして、その適正な使用のために必要な情報を提供させるよう努めなければならない。
- エ 薬局開設者は、指定第二類医薬品を販売又は授与する場合には、当該指定第二類医薬品を購入しようとする者等が、禁忌事項を確実に確認できるようにするために必要な措置を講じなければならない。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 6

特定販売に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 特定販売とは、その薬局又は店舗におけるその薬局又は店舗以外の場所にいる者に対する一般用医薬品又は薬局製造販売医薬品（毒薬及び劇薬であるものを除く。）の販売又は授与をいう。

イ 薬局開設者は、特定販売を行う場合には、当該薬局に貯蔵し、又は陳列している一般用医薬品又は薬局製造販売医薬品（毒薬及び劇薬であるものを除く。）を販売し、又は授与しなければならない。

ウ 特定販売を行うことについてインターネットを利用して広告をするときは、都道府県知事及び厚生労働大臣が容易に閲覧することができるホームページで行わなければならない。

エ 特定販売を行うことについてインターネットを利用して広告をするときは、ホームページに「現在勤務している薬剤師又は登録販売者の別及びその氏名」を見やすく表示しなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 7

医薬品の販売広告に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 一般用医薬品の販売広告媒体として、テレビ、ラジオ又は新聞が該当するが、店舗販売業において販売促進のため用いられるチラシについては、広告媒体として該当しない。
- イ 漢方処方製剤の効能効果について、配合されている個々の生薬成分の作用を個別に挙げて説明することは認められている。
- ウ 医薬品の誇大広告は、薬事法第66条等に抵触するおそれがあり、広告等の依頼主だけでなく、その広告等に関与するすべての人が対象となる。
- エ 医薬品等の販売広告に関しては、薬事法による保健衛生上の観点からの規制のほか、不当な表示による顧客の誘引の防止等を図るため、「不当景品類及び不当表示防止法」や「特定商取引に関する法律」の規制もなされている。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、ウ) 3 (イ、エ) 4 (ウ、エ)

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 8

医薬品の販売広告に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 一般用医薬品と同じ有効成分を含有する医療用医薬品の効能効果をそのまま標榜^{ほう}することは、承認されている内容を正確に反映した広告といえない。
- イ 医薬品の有効性又は安全性について、それが確実であることを保証するような表現は認められていない。
- ウ 使用前・使用後を示した図画・写真等を掲げることは、効能効果等の保証表現となるため不適当とされている。
- エ 公的機関が推薦、選用等している旨の広告については、一般の生活者の当該医薬品に対する認識に与える影響が大きいことから、仮に事実であったとしても、原則として不適当とされている。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	誤

【薬事関係法規・制度】

問 1 1 9

行政庁による処分に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 都道府県知事は、配置販売業者に対して、その構造設備が基準に適合しない場合においては、その構造設備の改善を命じ、又はその改善がなされるまでの間当該施設の全部若しくは一部の使用を禁止することができる。
- イ 都道府県知事は、薬局開設者について、薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反する行為があったとき、その許可を取り消し、又は期間を定めてその業務の全部若しくは一部の停止を命じなければならない。
- ウ 都道府県知事は、医薬品による保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、店舗販売業者に対して、医薬品の販売又は授与を一時停止することその他保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するための応急措置を採るべきことを命ずることができる。
- エ 都道府県知事は、店舗管理者に薬事に関する法令又はこれに基づく処分に違反する行為があったときは、その店舗販売業者に対して、店舗管理者の変更を命ずることができる。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	誤	正

【薬事関係法規・制度】

問 1 2 0

以下の効能効果のうち、化粧品に表示・^{ぼう}標榜が認められているものとして、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 フケ、カユミがとれる。
- 2 頭皮、頭髪にうるおいを与える。
- 3 小じわを予防する。
- 4 口唇の乾燥を防ぐ。
- 5 肌荒れを防ぐ。